

第264回 番組審議会

1. 日 時 平成29年7月11日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 9名
出席委員数 8名(欠席委員数 1名)

○ 出席委員(敬称略)

砂子田 智(副委員長)

—以下50音順—

石田 征広

加藤 裕一

久慈 浩介

菅原 正二

升田 久美子

八木橋 伸之

役重 真喜子

○ 会社側出席者(8名)

藤澤 利憲(代表取締役社長)

小原 忍(取締役副社長)

藤原 銀司(常務取締役)

前田 秀男(取締役技術局長)

工藤 浩(取締役東京支社長)

高嶋 昇(取締役営業編成局長)

青田 優(営業開発部長)

菊池 拓司(営業開発部主任)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『めんこい I L C キャンペーン特別番組 未来はどう変わる?～ I L C とつくる「みんなの未来」を知ろう～E p i s o d e 2』
平成 2 9 年 6 月 2 5 日 (日) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0

5. 議事概要

今回は、6月25日午後1時30分から放送の「めんこい I L C キャンペーン特別番組 未来はどう変わる?～ I L C とつくる「みんなの未来」を知ろう～E p i s o d e 2」を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ営業開発部長 青田からの説明

・めんこいテレビでは、「豊かな地域社会の実現の為、価値ある情報を提供する」という理念のもと、誘致決定を控えた今年度から I L C 推進キャンペーン期間として番組、CM、WEBでキャンペーンを展開している。番組は、そのキャンペーンの一環として第1回を3月26日に、今回審議頂く2回を6月25日に放送した。

・CMは、「アート× I L C」を3タイプと岩手県立大学鈴木厚人学長に出演頂いたもの、併せて4タイプを制作し協賛社を募って放送している。「 I L C という言葉は知っている」という県民基盤を整え、興味喚起を起し、番組を通じて少しでも理解してもらえるようにと思っている。岩手県 I L C 推進室、岩手県商工会 I L C 推進協議会とも共有して旬な情報、トピックも番組に入れ、今後はイベントの展開も予定している。

●岩手めんこいテレビ営業開発部 菊池プロデューサーからの説明

・「 I L C とつくるみんなの未来を知ろう」は、初回を岩手県立大学の鈴木厚人学長をナビゲーターに迎え、まず科学的な概要を説明しながら I L C とは何の役に立つのか、社会にどのような基礎、技術が役に立っているのかという部分と奥州市の町の取り組み、地元企業の参加について触れた。今回の第2回は、コア技術を弊社の視点から一度掘り下げて、陽電子開発、測定器の仕組み等に焦点を当て、また、実際のインフラ面としては、トンネル掘削工事を取材し放送した。

・ I L C の研究を一般向けに分り易く説明することは難しいと認識しているが、

I L Cを身近に感じて、1人でも多くの方に興味を持ってもらえるようにキャンペーンを進めて行きたいと考えている。

●出席した委員からの意見

- ・テレビの映像の力は、すごいなと思った。非常に分りやすく、専門用語だが、I L Cがどういう仕組みで何を見つけようとしているのかが分る作りになっていた。
- ・4回シリーズを全部見て、全体のストーリーとして捉える視聴者はほとんどいないと思うので、各回で、前回のおさらいや4回シリーズの流れの紹介があった方がいい。
- ・画面が眩しすぎた。目に負荷がかかっていたと思うので注意喚起もあった方が良かった。
- ・制作する側には当たり前なことでも視聴者にとっては、当たり前じゃないということがある。「これ、どういう意味なの？」と疑問に思うところがあった。
- ・一番大事なことは、皆にI L Cというものを理解してもらうこと。この番組は、ちゃんと分るように説明していた。
- ・非常に意欲的で、地方のテレビ局が単独で制作したことに驚いた。
- ・村山斉先生の話しぶりは、身振りを交えながら、情熱を持った話しぶりで、若い人に直接伝わるような話し方は、説得的で良かった。
- ・I L Cが成功すると、具体的に何があるのか。「ああそんな夢があるんだな」と思えるような気がして、その辺も伝えて欲しかった。
- ・財政的な裏付けがこれだけ必要だとか、技術者の問題、科学者の問題などは別に取り上げるのか、地域への経済的な効果なども取り上げるのか、その辺を確認したかった。
- ・夢のある話なので、もう少し夢を感じさせるように作った方が良かった。

・若い人や子供たちに漫画で分かりやすく説明するとか、年配の方にも分る解説もキャンペーンとしてやっていけたらいいと思った。

・一番知りたいのは「何が得なの」というところ。そういうところを表現できれば良かったと思う。

・チャプター毎にまとめをしてもらえると、頭に入ったのではないかな。

・分かり難いものをあえて分ってもらうような努力をした意欲的な素晴らしい番組だった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成29年7月12日(水) 産経新聞 東北版

※平成29年7月22日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審りポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成29年9月12日(火)12時より当会場にて開催予定です。